

取組 5 「京のこども 明日へのとびら」

京都ゆかりの文化人や学識経験者など、各分野で活躍する51名の執筆陣による生き方応援メッセージがいっぱいつまった、子どもたちの「心の教育」のための学習資料集です。



取組 6 不登校の子どもへの支援

- ・教室に入りにくい児童・生徒に対し、相談室などで相談・学習支援を行うための「心の居場所サポーター」を配置しています。
- ・フリースクールなどで学ぶ不登校児童・生徒の支援や、適応指導教室の設置・機能拡充への支援を行っています。
- ・学校に行きにくい状況にある児童・生徒を対象に、るり溪の自然の中で集団宿泊体験を通じて、自立への力や登校する力を育てる取組を推進しています。

取組 7 いじめ、少年非行防止の対策

- ・「いじめ未然防止・早期解消支援チーム」を設置し、学校がいじめ防止対策のチェックや、早期解消に向けた支援を行っています。
- ・いじめや非行などの早期発見、早期解消のため、スクールカウンセラー、「まなび・生活アドバイザー」などの学校への配置や、24時間相談窓口を設置し、相談体制の充実を図っています。

取組 9 薬物乱用防止対策

PTAと連携した薬物乱用防止教室などの開催や、教員・警察・学校薬剤師など指導者に対する薬物乱用防止教育の研修会の開催等、薬物乱用ゼロに向けた取組を強化します。



取組 11 子どもの未来を守る事業

- ・すべての子どもが夢や希望を持って成長していける環境づくりのため、学校や児童・生徒が抱える課題解決に向けて、教育や福祉の専門家である「教育力向上型サポーター」「地域ネットワーク型サポーター」「学校プラットフォーム型サポーター」を派遣・配置します。
- ・中学校段階までの学習の不安を解消し、中退等の減少、希望進路の実現につなげるため、府立高校に「セカンドラーニング教室」を開設しています。
- ・教育の機会均等を図るため、修学資金や就学支援金などにより、高校生へのきめ細かな学びのセーフティネットを充実します。

取組 8 主権者教育 社会参画意識の醸成

- ・府立学校において、ディベートや模擬選挙等の実践活動を行い、主権者として必要な政治的教養を育成します。
- ・法をはじめ、実生活でのルールや決まりについて、自ら考え理解したうえで、態度や行動に移す能力をはぐくむため、各校で実践的な取組を進めています。
- ・府立高校生が通学路の見守り活動や清掃活動、災害被災者への支援など様々なボランティア活動に取り組み、地域とつながり、地域社会の活性化に貢献する取組を推進しています。



取組 10 京の子ども ダイヤモンドプロジェクト

優れた資質のあるジュニア選手を発掘し、6年間かけて育成することで、国際舞台での活躍とその経験を活かして社会貢献できる人材の育成を行います。



取組 12 子どものための 京都式少人数教育

小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能となるよう教員を配置し、市町（組合）教育委員会が子どもや学校の状況に応じて、少人数教育の手法を選択し実施します。特に小学校1・2年生ではチームティーチングを行うなど、きめ細かな学習面や生活面の指導を推進しています。

取組 14 学力充実対策

- ・小学校4・5年生への個別補充学習により、学習のつまずきの解消を図っています。
- ・「中1振り返り集中学習『ふりスタ』」により、小学校段階の学習のつまずきの解消を図っています。
- ・「中2学力アップ集中講座」を土曜日などに行うことにより、基礎・基本の徹底や発展学習に取り組み、全体の学力向上を目指しています。
- ・理科支援員の配置や大学教授などによる指導助言を行うことで、理科の学力向上を図ります。

取組 15 夢に応えられる府立高校づくり

生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、時代の変化に対応した教育を実践するため、高校の魅力づくりを推進しています。

- ・科学技術分野で活躍できる人材の育成や国際社会に貢献できるリーダーの育成、社会・経済構造の変化に対応できる人材の育成などを目的としたスーパーサイエンスネットワーク、グローバルネットワーク、スペシャリストネットワークの推進
- ・地域創生・地域連携をはじめとする特色ある活動や効果的な取組を京都フロンティア校支援事業にて推進
（「地域創生推進校」の指定により、地域に愛着を持ち貢献する人材の育成を推進）
（ICT活用による、進学予備校のコンテンツを活用した学習指導の実施）



取組 16 特別支援教育の充実

- ・「京都府スーパーサポートセンター（SSC）」を拠点に、専門的な研修、研究、教育相談を行い、発達障害を含む障害のある子どもたちへの、就学前から卒業後に至るまでの一貫した特別支援教育を総合的に推進しています。
- ・府立特別支援学校生徒の希望進路の実現に向け、外部の専門家等を活用した職業教育を行うとともに、城陽支援学校高等部に生徒全員が企業就労を目指す「職業学科」の設置に取り組みます。
- ・府立高校では、聴覚に障害のある生徒に対して、学習補助システムを活用した授業を試行します。
- ・インクルーシブ教育システム構築の推進を図るため、府内小中学校及び府立高校に合理的配慮協力員を配置し、障害のある子ども一人一人に応じた支援や指導内容のモデルづくりを行います。

取組 13 大学との連携

ノーベル賞受賞者を輩出し、豊かな研究基盤を持つ大学が数多くある京都の強みを生かし、子どもたちの知的好奇心をはぐくむ取組などを行っています。

- ・大学からの出前授業や、大学での体験授業
- ・大学の研究員などと府立高校生の共同研究（スクールラボ）
- ・理数教育の充実のため、「京都数学グランプリ」「京都科学グランプリ」を開催
- ・教師を目指す大学生を対象とした学校インターンシップ「教員養成サポートセミナー」
- ・大学が持つ最新の教育情報を活用した授業力向上のための教員研修

